

報告

日本語学習者による漢字学習支援電子教材・電子ツール使用の実態に関するアンケート調査

マシニナ・アナスタシア 三浦 香苗

要旨

漢字学習支援電子教材や電子ツール（これ以降、電子教材・ツールと呼ぶ）の使用実態に関するアンケート調査の結果を報告する。調査は、金沢大学に在学中の留学生（合計99人）を対象に、学習者がどの電子教材・ツールを使っているか、日本語学習者の母語（漢字圏・非漢字圏）と日本語力のレベル（初級・中級・上超級）が電子教材・ツールの使用にどのように関係しているかをみた。その結果以下のことが明らかになった。1) 6つの電子教材・ツールについて、過去一ヶ月で電子辞書の使用が最も多く、被験者の73%が使っていた。2) web上の辞書、翻訳ソフト、携帯電話を辞書代わりに、CAI、web上の読解ツールの順であった。3) 電子辞書は、初級前期では25%、中級後期からは100%の者が使用しているが、漢字圏の学習者の方が使用率が高い。電子辞書の購入と使用の主な理由は、辞書の機能であった。4) 電子辞書を使わない理由は、経済的理由が多い。5) 電子辞書で漢字の意味、次いで読み（発音）を調べる。6) 電子辞書を使用する学習者は日本語でメールをよく書き、日本語で書かれたインターネット上の新聞やホームページもよく読む。

キーワード：漢字、学習支援、電子ツール、電子教材、電子辞書、漢字圏／非漢字圏

I. 問題の背景と研究の目的

漢字・語彙学習は日本語学習において重要な部分である。これまでに様々な漢字学習方法が提案、実践されているが、近年のコンピュータ技術の進歩に伴い、漢字学習においても電子化が注目され、CAI (Computer Assisted Instruction) をはじめとする様々な電子教材・ツールや電子辞書が開発されている。また、インターネットの普及に伴い、web上の学習支援ツールの発展はめざましい。

筆者らは、漢字学習ストラテジーを広範囲にわたって研究してきたが、今後の学習ストラテジーを考える時、電子教材・ツールの使用は重要な要素となっている。近年、携帯に便利な電子辞書の普及は進んでおり、使用実態を知る必要がある。

近年になされた外国語学習時の電子辞書使用に関する研究では、日本人を対象とするものが多い。例えば、電子辞書と冊子辞書使用の比較（山口2007）や電子辞書の使用要因（阿部2007）、電子辞書の学習効果への影響（小山2006）などに関する研究があげられる。また、朴（2007）では、日韓バイリンガルの中高生を対象に電子辞書の使用実態に関する調査結果が発表されているが、これも英語学習時の辞書使用を中心になされたものである。

第二言語としての日本語学習時の電子辞書使用の研究中、電子辞書の使い方をどう教えるか（廣田2008）、読解における電子辞書の使用効果（古賀1995）などの研究がある。また、毎年、CAIの漢字学習システム、オンライン辞書、読解ツールなど、様々な漢字学習電子教材が開発されているが、実際にこれらがどう使われているかについての調査は不十分であると思われる。

本アンケート調査は、6種類の電子教材・ツール（①web上の翻訳ソフト、②web上の辞書、③web上の読解ツール、④web上またはソフトをインストールするデジタル漢字学習教材（CAI）、⑤携帯電話を辞書代わりに使う、⑥電子辞書）の使用頻度を調べ、特にその代表である電子辞書の使用実態を調査し、母語（漢字圏・非漢字圏）と日本語力のレベル（初級・中級・上超級）が電子辞書の使用にどのように関係しているかをみることを目的とする。

II. 方法

・対象

金沢大学留学生センター総合日本語コースの授業を受けている留学生、及び、日本語を母語としない金沢大学の学部生、大学院生、合計99名⁽¹⁾であった。その内訳は表1に示す。

(1) 100人からアンケート用紙を回収したが、そのうち1人は未回答欄が多かったため、99人を対象とした。

表1 調査対象者のプロフィール

平均年齢	性別	日本語力のレベル	母語
24歳	男性 49 女性 50	初級41 (A20 B21) 中級32 (C25 D7) 上・超級26 (E10 F13 超3)	漢字圏 46 非漢字圏 53

母語については、漢字圏（中国、韓国、台湾）は46人、非漢字圏は53人であった。非漢字圏の学習者の国籍は英語圏の国、ヨーロッパ、アフリカの国など多種多様であったが、本研究では一つのグループにまとめて分析した。また、韓国国籍の学習者を漢字圏グループに入れた。

日本語力レベルは、初級、中級、上・超級の三つに分けた。本学総合日本語コースは、初級前期Aから上級後期Fの6レベルがある。AとBを初級、CとDを中級、EとFを上級とし、Fを超えるとと思われる学習者を超級とする。表2に漢字圏・非漢字圏の学生の日本語力レベルを示した。

表2 漢字圏・非漢字圏と日本語力レベル

母語 \ 日本語力レベル	初級	中級	上・超級	計
漢字圏	11	16	19	46
非漢字圏	30	16	7	53
計	41	32	26	99

・アンケート調査

上に示した金沢大学の留学生を対象に、質問紙によるアンケート調査を2008年11月15日から2008年12月10日まで実施した（資料参照）。内容は、「あなた自身について」、「いろいろなEラーニングツールについて」、「電子辞書使用について」、「その他の質問」、「あなた自身による評価」からなっている。説明文及び質問項目は日本語と英語で書いた。

Ⅲ. 結果と考察

1) いろいろなEラーニングツールについての詳細

- ① 6つの電子教材・ツールについて最近1ヶ月に使用したかと質問したところ、使用したと答えた人数は、電子辞書が最も多かった。使用人数の多い順に、電子辞

書 (69人), web 上の辞書 (59人), web 上の翻訳ソフト (36人), 携帯電話を辞書代わりに (24人), CAI (15人), web 上の読解ツール (8人) であった (表3)。

表3 いろいろなEラーニングツールの最近1ヶ月の使用人数

使用ソフト	漢字圏の留学生 (46)				非漢字圏の留学生 (53)			
	初級 (11)	中級 (16)	上級 (19)	合計 (46)	初級 (30)	中級 (16)	上級 (7)	合計 (53)
①翻訳ソフト	4	7	1	12	14	7	3	24
②インターネット上の辞書	9	10	10	29	15	11	4	30
③インターネット上の読解ツール	0	0	3	3	2	2	1	5
④デジタル漢字学習教材 (CAI)	1	1	0	2	8	3	2	13
⑤携帯電話 (辞書代わり)	1	3	6	10	5	5	4	14
⑥電子辞書	6	14	19	39	15	11	7	33

②翻訳ソフトの使用に関して漢字圏と非漢字圏の学習者を比較したところ、非漢字圏の学生のほうがよく使う (カイ二乗検定⁽²⁾ $P < 0.05$)。日本語レベルによる翻訳ソフトの使用の差は見られなかった。

③インターネット上の辞書は、99人中、59人が使っていた。日本語力による差は見られなかった。各レベルの使用者と非使用者の人数は半々ぐらいであった。

④インターネット上の辞書を使う人の方が翻訳ソフトの利用者より多い。 ($P < 0.01$)

⑤インターネット上の読解ツールの使用率は低い (99人中、8人)。また、この8人中、6人が「上級読解」という総合日本語コースの授業で使っていた。多くの回答者は「読解ツール」とは何か知らなかった。

⑥デジタル漢字学習教材 (CAI) の使用率はあまり高くない (99人中、15人)。

⑦辞書代わりに携帯電話は、99人中24人が使っている。使用・非使用と日本語力レベル、及び使用・非使用と漢字圏・非漢字圏の関係には、有意差が見られなかった。

⑧電子辞書は、99人中、72人 (約73%) が使用していた。図1に日本語力レベル別の使用率を示した。

(2) これ以降のP値は、カイ二乗検定で求めたものである。

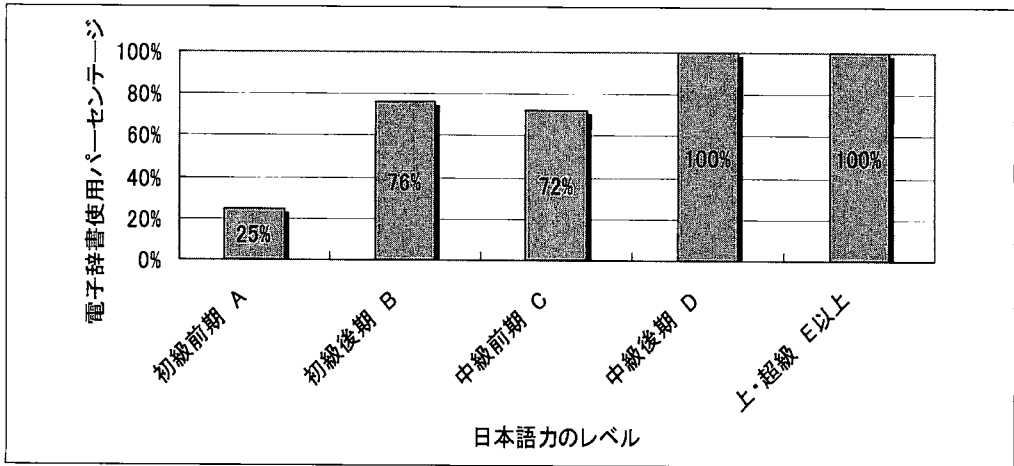


図1 電子辞書使用 (%) と日本語力レベル

初級前期でも電子辞書を使用している学習者が見られるが、使用率は25%である。初級後期から使用率は上がり、中級後期からは100%となる。また、漢字圏の学習者は非漢字圏の学習者より電子辞書をよく使う ($P < 0.05$)。一般的には、非漢字圏学習者の方が電子辞書を必要とするのではないかと考えられるが、調査結果はその反対であった。この結果は、結果2 (非漢字圏の学習者のほうが翻訳ソフトをよく使うこと) と対照的であった。翻訳ソフトは、非漢字圏学習者にとって電子辞書よりも使いやすいのだろう。

2) 電子辞書使用についての詳細

使用中の電子辞書への満足度を5段階で質問したところ、平均値は3.71 (約74%) であり、比較的満足していると言える。辞書の名前を訊いたが、ほとんどの人がメーカー名で答えた。メーカー名を多い順に挙げると、カシオ29、シャープ12、任天堂3、キャノン2、8メーカーが各1であった。辞書の購入ないし使用の目安は、機能 (58人)、値段 (28人)、デザイン (12人)、その他 (11人 使いやすさ、ゲームやカラー画面など) であった (図2)。機能は、漢字圏の学習者の方が多く選択した ($P < 0.05$)。他のものには有意な違いはなかった。

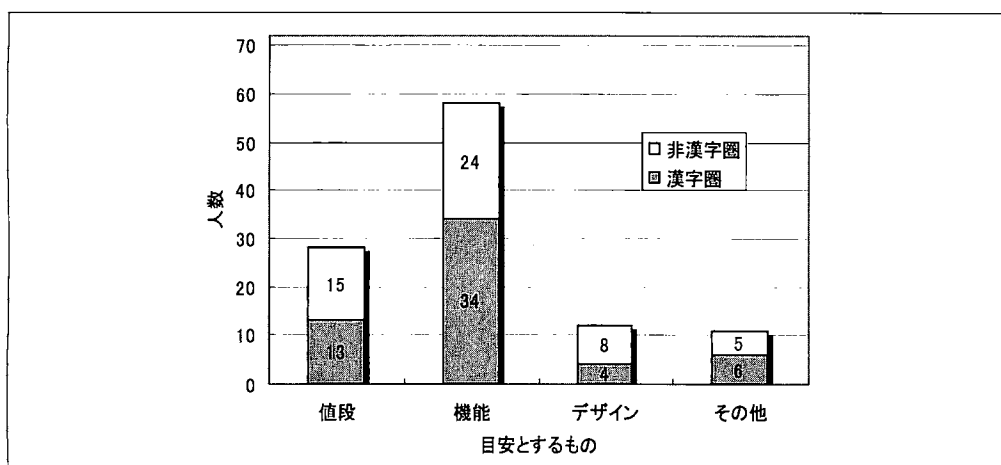


図2 電子辞書を購入ないし使用する際の目安となるもの

また、辞書を使って何を調べるかは、漢字・漢字語彙の意味 meaning (64人)、読み方 pronunciation (reading) (45人)、漢字熟語 kanji compounds (39人)、例文 example sentences/ phrases (29人) を調べることがわかった。漢字・漢字語彙の意味を調べる人が最多であった (図3)。

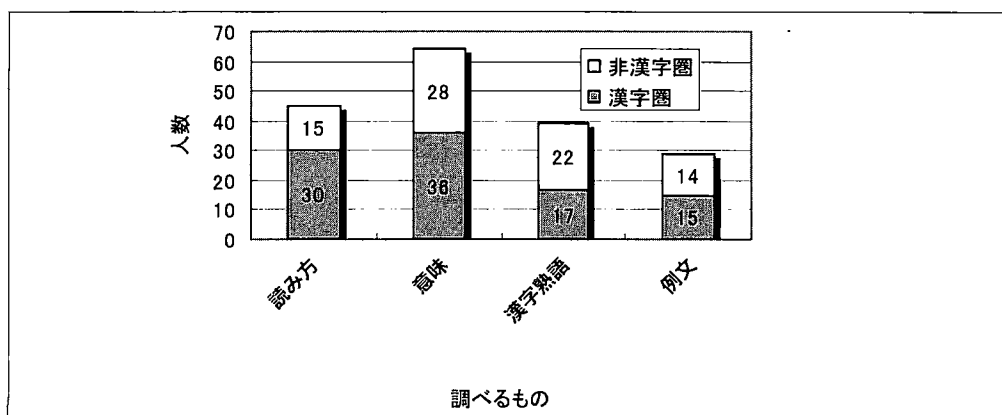


図3 電子辞書で調べるもの－漢字圏・非漢字圏別

漢字圏の学習者の方が非漢字圏よりも、意味調べ ($P < 0.01$)、読み方調べ ($P < 0.01$) を選択した人の方が、選択しなかった人よりも有意に多かった。しかし、漢字熟語と例文に関しては、漢字圏・非漢字圏のあいだに有意差は見られなかった。筆者らは、漢字圏学習者の漢字の読み(発音)が非漢字圏学習者よりも劣るという印象をもっていたが、その印象が裏付けられた。

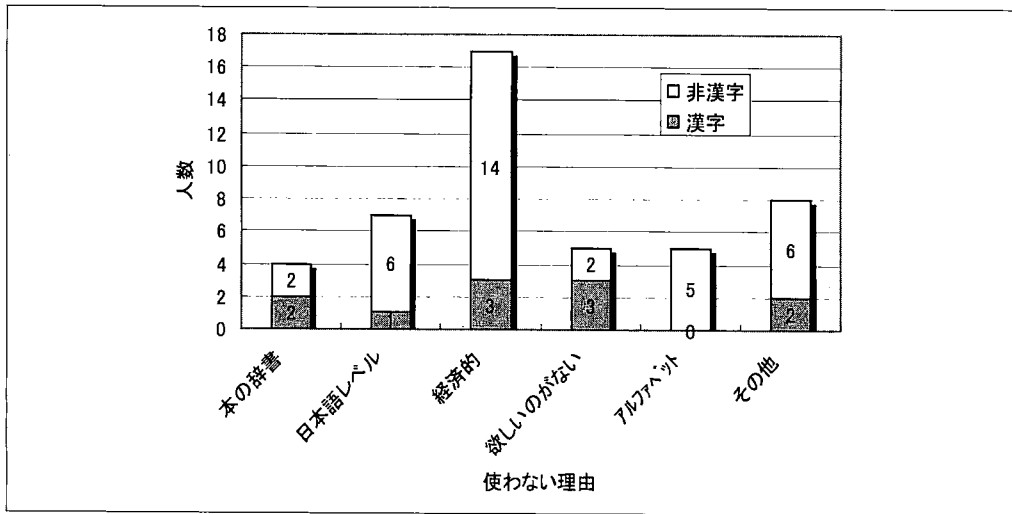


図4 電子辞書を使わない理由

電子辞書を使わない27人に対して使わない理由をたずねたところ、経済的理由（14人）が多かった（図4）。「ローマ字や英語、または母語付きの辞書がない」はわずか5人であった。我々は、非漢字圏の初級学習者は電子辞書の表示がすべて漢字と仮名であるため電子辞書を使いたくても使えないのだろうと考えていた。そのため、「ローマ字や英語、または母語付きの辞書がない」が多いだろうと予想していたので、この結果は意外であった。

3) 電子辞書の使用と日本語のインターネット使用の関係

インターネットのどの機能を使うかを表4に示した。電子辞書を使用する学習者は、使用しない学習者よりも日本語でメールをよくした。 $(P < 0.05)$ 、また、日本語のインターネット上の新聞やホームページもよく読むことが分かった $(P < 0.05)$ 。

携帯電話を辞書代わりに使う者は日本語でメール、チャットもよくする $(P < 0.05)$ 。メール（日本の独特なものとして携帯のメール）やチャットなどのような手段を使ってコミュニケーションをする場合、普通の会話と同じくらいのスピードで速やかに反応しなければならないので、常に手元にあるもの—携帯電話—を辞書として使うと便利であろう。

表4 この一ヶ月にチャット、メール、インターネット上の新聞やホームページを利用した人数

	漢字圏の留学生 (46)				非漢字圏の留学生 (53)			
	初級 (11)	中級 (16)	上級 (19)	合計 (46)	初級 (30)	中級 (16)	上級 (7)	合計 (53)
日本語のインターネット使用								
日本語でチャットをする	5	8	13	26	13	10	4	27
日本語でメール書く	6	13	18	37	13	15	7	35
インターネット上で日本語の新聞またはHPを読む	5	12	18	35	4	8	5	17

4) 結果のまとめ

今回の電子教材・ツール使用の調査で分かったことでは、以下の点が重要であると考えられる。

- 6つの電子教材・ツールの使用については、電子辞書の使用が最も多かった。次いで、web上の辞書、web上の翻訳ソフト、携帯電話を辞書代わりに、CAI、web上の読解ツールの順であった。
- 電子辞書は約73%の被験者に漢字・漢字語彙学習のツールとして使われている。
- 電子辞書は、初級前期では25%、初級後期から使用率が上がり、中級後期以上は100%の使用率である。
- 電子辞書は、漢字圏の学習者のほうが多く、反対に、翻訳ソフトは非漢字圏学習者の方が多く使用している。これらの理由について詳しく調べる必要があると思われる。
- 電子辞書の購入と使用の主な理由は、辞書の機能である。
- 電子辞書を使わない理由は、経済的理由が多い。
- 電子辞書を使用する学習者は日本語でメールをよくする、また、日本語のインターネット上の新聞やホームページもよく読む。

IV. まとめ

語彙の習得は、第二言語または外国語習得に於ける大きな課題であり、特に日本語の場合は漢字という壁をどう克服するかが鍵となる。本研究では、漢字学習ストラテジーの一環として、電子教材・電子ツールの使用実態を報告した。調査結果からわかったことは、大きく二つある。電子辞書の使用と簡便さへの傾きである。

電子辞書は、今回の調査によると、教材・ツール中、最も使用者が多く、初級前期

から4分の1の学生が、中級後期以上では全員が使用している。使用中の電子辞書に対する満足度の平均値は74/100と比較的高い。これは、筆者らの予想を上回る使用数と満足度であった。現在入手できる電子辞書には外国人日本語学習者向けに作られたものはないため、様々な点で使いにくさがあり満足度も低いだろうと我々は予測していた。今回のアンケートでは、この結果の理由までは説明できないが、留学生の日本製品に対する信頼度の高さ、手に入れられる製品が日本語学習者には使いにくくても使っていこうとする現実的な態度、日本人と同じものを使っているというある種の満足感、ほとんどの留学生が持っている物を自分も持たなければという気持ちなどがあると考えられる。

簡便さという点では、携帯できる電子辞書は簡便さの代表であり、中級後期以上の留学生は全員が電子辞書を持つので、もはや本の形の辞書は特別の場合以外は使わないだろう。電子辞書に次いで使用が多かったものは、web上の辞書であり、次いでweb上の翻訳ソフト、携帯電話を辞書代わりに、がそれに続いた。CAIと読解ツールは、使いこなせば非常に強力な道具であるが、使用者は多くない。勉強しようという意志をもって机の前に座って使わねばならないので苦勞を伴い時間がかかるという点も一要因であろう。

最後に、教育への示唆という点を考える。簡便なツールは教師の指導がなくても学習者は自主的に使っていくが、便利で有益であっても、たとえばweb上の読解ツールなどは、授業で使ったことがない学習者には知られていないが、授業で使った学習者による評価は高い。教師にも学習者にも、それぞれ好みの教授法と学習方法があるが、良い教材、ツール、方法を教師も学習者も常に探し、試みるという探究心が必要である。

【引用文献】

- 1 阿部圭子「電子辞書の使用実態と普及の要因」『日本語学 特集：電子辞書』2007/7 Vol.26 明治書院
- 2 古賀友也「外国語読解プロセスにおける電子辞書使用の有効性」『日本教育工学会大会講演論文集』1995/11 Vol.11 広島大学
- 3 小山敏子「外国語学習と電子辞書—メディアがもたらす変化をどう受けとめるか—」『日本語学 特集：外国語学習者のための辞書』2006/7 Vol.25 明治書院
- 4 朴良順「子どもたちの電子辞書利用—日韓バイリンガル中高生の場合—」『日本語学 特集：電子辞書』2007/7 Vol.26 明治書院
- 5 廣田周子「非漢字圏学習者に対する電子辞書の使い方指導」『文化外国語専門学校日本語課程紀要』2008/2 No.21 文化学園外国語専門学校
- 6 山口昌也「電子辞書と冊子体辞書の記述内容、使い勝手を比較して—広辞苑を両方でひいてみる—」『日本語学 特集：電子辞書』2007/7 Vol.26 明治書院

資料:漢字学習 (Eラーニング) についてのアンケート (調査で使用したアンケートは振り仮名、英訳があったが、ここでは日本語の文のみ示す。)

パート1. あなた自身について

- ①国 ②母語 ③性別 ④年齢 ⑤クラス名 ⑥日本語学習歴 __年__ヶ月勉強した
⑦身分: KUSEP, 日研生, 一般短期, アジア人材, 学部生, 研究生, 大学院生, その他

パート2. いろいろなEラーニングツールについて

まず、「はい」か「いいえ」に○をつけ、そのあとの質問にこたえてください。

- ①この1ヶ月に、翻訳ソフトを使いましたか ②「はい」の人は、何回ぐらい使いましたか ③どんな翻訳ソフトを使いましたか?
- ①この1ヶ月に、インターネット上の辞書を使いましたか ②「はい」の人は、何回ぐらい使いましたか。③どんなのを使いましたか?
- ①この1ヶ月に、インターネット上の読解ツール (例: Reading Tutor) を使いましたか ②「はい」の人は、何回ぐらい使いましたか。③どんなのを使いましたか?
- ①この1ヶ月に、デジタル漢字学習教材 (Web上、またはソフトをインストールして) を使いましたか ②「はい」の人は、何回ぐらい使いましたか。③どんなのを使いましたか?
- ①この1ヶ月に、携帯電話を辞書代わりに使いましたか ②「はい」の人は、何回ぐらい使いましたか。
- ①この1ヶ月に、電子辞書を使いましたか ②「はい」の人は、何回ぐらい使いましたか。

パート3. 電子辞書使用について

7 質問6に“はい”と答えた人は次の質問に答えてください。“いいえ”と答えた人は8番へどうぞ。7.1 どのような辞書を使っていますか? メーカーとモデルを書いてください。

7.2 電子辞書の使用頻度を書いてください。1日に__回ぐらい、または、1週間に__回ぐらい 7.3 いつから電子辞書を使っていますか? 7.4 あなたが使う電子辞書の購入/使用の理由。(複数回答可能) a. 値段 b. 機能 c. デザインや色や大きさ d. その他

7.5 何を調べるために使いますか。(複数選択可能) a. 読み方 b. 意味 Meaning c. 熟語 d. 例文 e. その他 Other purpose (s) 7.6 あなたの電子辞書への満足度。

1-----2-----3-----4-----5

全然満足していない あまり満足していない ふつう かなり満足 とても満足

8 6番目の質問に“No”と答えた人は、次の質問に答えてください。

なぜ電子辞書を使いませんか? (複数選択可能) ①本の辞書の方がいい ②辞書をひくほど日本語レベルが高くない ③経済的理由 ④欲しい電子辞書がない ⑤英語、またはアルファベット表示付きの電子辞書がない ⑥その他

パート4. その他の質問

9 この1ヶ月に、日本語でチャットをしましたか 10この1ヶ月に、日本語でメール送りましたか 11この1ヶ月に、インターネット上で日本語の新聞またはHPを読みましたか

パート 5. あなた自身による^{ひょうか}評価

12 あなたの IT リテラシーを評価してください。一つ選んでください。

1-----2-----3-----4-----5

ほとんどダメ あまりできない ふつう程度 かなりできる よくできる

13 あなたは語学学習のセンスがあると思いますか。一つ選んでください。

1-----2-----3-----4-----5

ほとんどダメ あまりできない ふつう程度 かなりできる よくできる

14 その他、コメントや漢字・漢字語彙の学習時に使う IT 技術を活かした学習方法があったら、書いてください。

Japanese Language Learners' Attitudes Towards the Use of E-Learning *Kanji* Materials and Tools: A Questionnaire Survey

Anastasia MASHNINA, Kanae MIURA

Abstract.

This article is a report of results of a questionnaire research on the usage of electronic teaching materials.

The research was conducted in November and December, 2008 among foreign students enlisted in Kanazawa University (100 answers in total). The aim of the research was to find out what influence does the native language of Japanese-learners (both of kanji-using countries and non-kanji-using countries) and the language proficiency level (beginner, middle and higher) have on the usage of electronic dictionaries.

Among the things clarified by this research, the main results are as follows.

Electronic dictionaries are used by most of Japanese-learners from the beginning level, but students from kanji-using countries use them more often. The main reason to purchase and use an electronic dictionary is the functions of the dictionary, the main reason not to use a dictionary is often an economic one. The students who use electronic dictionaries also often write e-mails in Japanese, often read Japanese newspapers and homepages online.